

岩西っ子だより

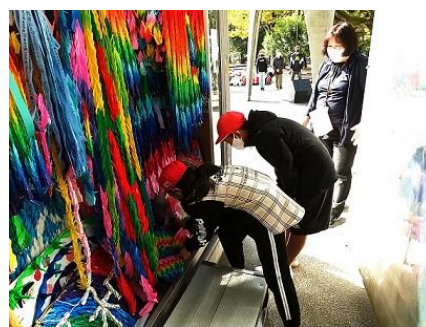
2021年10月26日号
東大阪市立岩田西小学校
校長 山本 直樹
TEL 072-963-8001

修学旅行のふりかえり

* ホームページでカラー版がご覧になれます

10月19日(火)・20日(水)の修学旅行の様子を紹介します。7:56発の新幹線に乗って広島へ出発です。初めて新幹線に乗る子どもたちもたくさんいて、乗り込む時の緊張感とわくわく感が伝わってきました。新幹線は1両ほぼ貸し切りになっており、窓を眺めたり、会話を楽しんだり、朝が早かったので眠っている子どももいました。

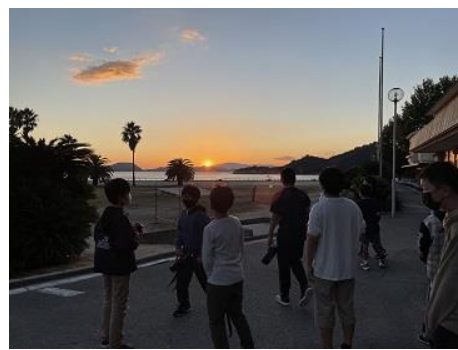
わずか、1時間20分程で広島へ到着!!路面電車に乗り換え平和記念公園へ。早速、原爆の子の像の前へ移動し平和実行委員の進行で平和集会が始まりました。平和への誓いをクラスごとに述べた後、黙とうをしました。平和集会の後は、被爆体験伝承者の方々とクラスごとに3つのグループに分かれて碑めぐりを行いました。現在、平和記念公園になっている場所は戦前、広島市の中心的繁華街として賑っていたそうです。原爆投下前の街並みの写真を見た後、伝承者さんの案内でその場所を訪れました。爆心地の島病院にも行きました。それぞれの碑にどのような願いが込められているのか、伝承者さんの話を子どもたちは熱心に聞いていました。



昼食後、平和記念資料館を見学、熱線による人体や建物への被害などを学びました。碑めぐりで学習した内容がさらに深まる内容でした。

雨のち晴れ

資料館を出ると、さっきまでの晴天が嘘のようなまさかの雨・・・学年写真を撮ろうと思っていたのですがとても残念です。バスに乗り込み、忠海港(大久野島へ向かう港)に到着する頃には雨も小降りになりました。船の中では「キャンプファイヤーできるかな。雨やむかな」子どもたちのつぶやきがあちらこちらから聞こえてきます。子どもたちの願いが通じたのか、大久野島に着く頃には雲の切れ間から太陽が見えてきました。船を降りてすぐ、このタイミングで学年写真を撮るしかないということで砂浜へ直行。海をバックに撮影を行いました。卒業アルバム掲載決定?の写真が撮れました。



宿舎に到着後、開校式を行いました。式の途中でウサギが数匹、近づいてきました。人にとっても慣れていて膝の上に乗ってきたりします。島内のいたるところで見られました。地面に深さ10センチ程度の穴をほる習性があるため舗装されていない地面は穴だらけです。宿舎に到着後、見事な夕日がみられました。これから始まる夕食とキャンプファイヤーへの期待感が膨らむひとときでした。

1年遅れのキャンプファイヤー

夕食後、キャンプファイヤーが始まります。天候は月と星が見える位に回復しました。寒さを心配しましたが上着を1枚羽織れば十分でした。辺りは真っ暗なため点火するまでの間、車のライトで辺りを照らしていました。子どもたちの司会でいよいよ開始です。歓声と拍手の中始まりました。火の神？の登場により点灯され、プログラム1番のマイムマイムです。子どもたち全員で手をつないで音楽に合わせて踊ります。円の中心辺りから写真を撮っていたのですが、子どもたちの満面の笑みがとても印象的です。私が林間学舎の中止を子どもたちに伝えてから1年。保護者の皆様の協力と理解があったこと、何より子どもたちが頑張ったから今日を迎えることができたと思いながら子どもたちを見ていました。その後、お笑いライブやゲームを行い終始笑いに包まれ終了しました。

修学旅行+林間学舎という、超ハードなスケジュールもあってか、10時消灯後、しばらくの間は、声がきこえてきたのですが、すぐに眠りにつく子どもが多かったように思います。



キャンプファイヤー終了後、海ほたるの観賞をしました。

2日目（体験プログラム）

「うわ、寒いー」子どもたちのつぶやきを聞きながらラジオ体操が始まります。上着なしでは寒さが身にしみる気温です。昨晚に比べて朝はかなりの冷え込みです。終了後の行程は、朝食→毒ガス資料館見学→ビジターセンター見学です。平和学習の後は、サイクリングの開始です。

大久野島をぐるりと1週、約4キロをめぐるサイクリングコース。学年全体で少しずつ時間差をつけての出発です。しばらくは、海岸線を通る快適な道のりが続きます。目の前に真っ青な海が一面に広がり、子どもたちの気分もあがります。長浦毒ガス貯蔵庫跡に到着し、スタッフの方の説明が始まります。



見学後すぐにスタート。快適なサイクリングもここまで。急な上り坂が始まります。とても自転車をこいで登れないので押しながら進みます。息切れしながらみんなで、なんとか登りきると北部砲台跡に到着して記念撮影。その後は下り坂でスピードがすぎないように気を付けながら下ると一面に海が広がります。潮風を浴びながら海沿いの道を進むと宿舎に到着。あっという間の島内1周でした。

まだまだプログラムは続きます。浜散策と釣りの2つのグループに分かれての活動です。浜散策では貝がら拾いや砂山を作ったりしていました。特に子どもたちが夢中になっていたのが「シーグラス」探しです。（ガラス片が石や水によって削られたものです）釣りグループは、宿舎から歩いて5分ほどのテトラポットへ向かいます。針にエビをつけて糸を垂らします。準備を終え実際に糸を垂らしている時間がそれほど長くなかったのですが、釣れた子どもがいたので驚きました。



島を離れる時スタッフの方が、船が見えなくなるまで見送ってくださいました。修学旅行の間、子どもたちからよく聞こえてきた言葉は「修学旅行に来てよかった。」です。本当に出発できるのか不安を感じていたのだと思いました。無事に終えることができたのも、保護者の皆様のご理解とご協力があったからです。ありがとうございました。